

■ リーダーシップ理論 ■

シナジーワーク・P C 松野美穂

今回の講義は、現場で利用できるリーダーシップ論のポイントを取りまとめてみました。
問題が起こった時もう一度思い返してみると解決のヒントになると思います。

1. リーダーシップの本質

リーダーは、まとめ役

リーダーシップとは、人々の心をつなげる働きかけ

フォロワーの意識の変化を積極的に促す行為

2. 結果の出しているリーダーの行動として、『課題(アジェンダ)の設定』がある。

課題の抽出は、対話や意見交換

課題の達成の為に、『ネットワークづくり』が必要

3. リーダーシップとマネジメントは、車の両輪

リーダーがフォロワーの意識の変化を促す→体制を作る→効果的に運営

『当たり前の事をきちんとこなせるように』 P D C Aサイクル

4. 組織が成立する為の条件 権力と支配の成り立ちは、正当性

①合法的支配 ②伝統的支配 ③カリスマ的支配

5. リーダーシップは、資質ではなく、行動で決まる。

流動型リーダーシップ→インフォーマルな組織活用

フォロワーの評価とは？

6. P (目標達成機能) M (集団維持機能) 理論

P 行動と M 行動の両方を満たす。

『仕事が出来て、部下の気持ちもわかる理想的な上司』

7. リーダーシップを発揮するコミュニケーション

『意味』を伝える→インパクトのある言葉で要約

自ら実際に行動して見せる事。

8. 『ポジショニング』で信頼を勝ち取る。

リーダーとフォロワーが信頼の絆で結びついていないと第一歩が踏み出せない。

9. リーダーの心得

肯定的自己観とワレンダ要因

10. サーバント・リーダーシップとは

奉仕の精神に基づいたリーダーシップ

フォロワーが能力を発揮しミッションを達成できるよう支援する。

社会学の側面や非営利組織に適している。